

まちづくり情報満載！

あーばんとーく

こうべまちづくり会館ニュース

Kobe UrbanTalk

2013年10月号(第194号)

- クリエイティブな都市を目指して (P.1)
 - 密集市街地再生に向けた地域の取り組み進行中！
東日本大震災の被災地へ／神戸市すまいの耐震キャンペーン (P.2)
 - 祝*10年 まちセン研究ネット K-T E C① (P.3)
 - まちづくり会館20周年記念事業11月イベント参加者募集ほか (P.4)
- 発行：神戸市立 こうべまちづくり会館
バックナンバーはこちら <http://www.kobe-sumai-machi.or.jp/matisen/>

クリエイティブな都市を目指して

デザイン・クリエイティブセンター神戸の1年を振り返って



1. KIITO オープン!!

デザイン・クリエイティブセンター神戸が 2012 年の 8 月 8 日に開設し、1 年あまりが経過しました。「みんながクリエイティブになる」ことを目指し、様々な創造活動や発表の場を提供するだけでなく、創造力で社会的な課題を解決する事業を展開してきました。

オープニングは、未来の神戸を担う子どもたちの創造力を育む「ちびっこうべ」を開催。「ちびっこうべ」はシェフ、建築家、デザイナーと一緒に夢のお店、まちを創る体験型プログラムで、約 1 万人が参加しました。子ども達はプロの仕事を実際に触れ、教わりながら自らの手で夢のまちを創り上げました。



2. 須磨区高尾台+クリエイティブ

KIITO の特色として、社会的な課題をクリエイティブな力で解決する取り組みとして、30 人程度の参加者と約 2 ヶ月間、ある課題について議論を重ね、その解決法を提案するゼミを開催しています。

今年 1 月から 3 月まで、須磨区高尾台をモデルに、ニュータウンのオールドタウン化問題に取り組みました。約 20~30 代のゼミ生のソトからの目で、まちを見つめ直し、今後の高尾台に対してどういった提案が共感できるのか？地域が取り組みたくなるものは何か？を地域住民と共に考えました。

ゼミ実施中に、既に実施された取り組みもあるなど、地域の共感をよぶ提案が多く生まれ、最終のプレゼンテーションでは、須磨区長も『高尾台わんわんパトロール隊という、住民同士の繋がりを、ペットを通して復活させようという提案に、社会的な課題を人の心に訴えその気にさせることで解決に繋げようというデザ

インの要素がある。』と話をしていました。

ちなみに、この取り組みは、地元まちづくり協議会が既に考えていた「わんわんマップ」に、+αの要素を加えたことで、地域もやってみようという気持ちになりました。〈10月14日スタートです!!〉

ゼミ終了後も、提案内容をまちづくり協議会と一緒に実施するなど活動が始まっています。

これらは、提案内容にあったウェブにも掲載されています。ぜひ一度、**高尾台TOD**と検索を!!



3. 最後に

現在も、防災+まちづくり+観光編ゼミや 10 月は防災に関するアジア国際展覧会 (EARTH MANUAL PROJECT) を開催します。クリエイティブな力で社会的な課題を解決する挑戦は、はじまったばかりです。皆さまも是非一度お越し下さい。

デザインは、これまでにないモノを生み出す、いわば魔法のように言われることもあります。しかし、今求められるデザインは、これまでにないモノを生み出すものではなく、これまでにない“動き”を生み出すことかもしれません。



(企画調整局デザイン都市推進室)

密集市街地再生に向けた地域の取り組み進行中！

兵庫北部地区で初の「まちなか防災空地」が完成しました！（湊川町10丁目西部1号地）

9月7日に、近隣の住民の皆さんへのお披露目も兼ねた完成式を行い、『街かど消火栓（簡易水道消火装置）』を使った初期消火訓練などに約30名の方が参加しました。敷地内には、広場と菜園、防災倉庫等を備えており、この空地を管理する湊川町10丁目西部自治会の佐藤会長からは「防災はもちろん、広場や菜園の活用を通して、地域コミュニティの新たな魅力の場所として活用していきたい。」とのコメントがありました。今後、他地区への導入のモデルとなるような取り組みが期待されます！



▲街かど消火栓を使った消火訓練
▲街かど消火栓（持ち運び可能なリュック式）
▲菜園に記念植花

東垂水地区が山「まちなか防災空地」にて消火訓練を実施しました！（荒内自治会）

9月8日に行った消火訓練では、「街かど消火栓」を使った消火訓練があり、地域の住民の皆さんなど約25名が実践練習に参加しました。参加者からは、「使い方を覚えるより、慣れるしかない」「使い方の練習を半年に一度はしたい」などのコメントがありました。地域のだれもが安心して使えるように、今後も訓練の実施など継続的な取り組みが期待されます！



街かど消火栓（固定式）を使った消火訓練



まちなか防災空地のロゴは、地区によって少し異なります。湊川町10丁目西部地区では、右下の波紋の形に、コミュニティが広がっていくようにとの意味を込めています！

まちづくり会館では、地域の取り組み等を取材してご紹介しています！
発信したい地域の取り組み等がありましたらぜひご連絡ください！

東日本大震災の被災地へ ～阪神・淡路大震災から復興した 神戸市の経験・教訓の発信～

気仙沼市から視察
に來られました！

東日本大震災により甚大な被害を受けた宮城県気仙沼市より、市議会調査団（臼井議長ほか建設及び総務教育常任委員会）の皆さまが、7月中旬と下旬の2回にわたり神戸市役所へ来庁されました。

気仙沼市では、高台への防災集団移転促進事業や土地区画整理事業を昨年度末に事業化し、今後、具体的に復興まちづくりを推進し、コミュニティの育成を図るにあたって、復興を経験した神戸市のノウハウを聴きに來られたものです。

神戸市から、まちづくり協議会方式の成り立ちや復興土地区画整理事業の取り組み実績などを紹介し、その後に行われた意見交換では、まちづくり協議会・専門家・行政のそれぞれの役割と連携、合意形成の際の工夫、土地区画整理事業を実施する際の技術的な留意点などについて、予定時間を大幅に超えて、熱心な議論が交わされました。

今後のスムーズな事業の進捗と一日も早い復旧・復興を心からお祈り申し上げます。
(都市計画総局まち再生推進課)



神戸市すまいの耐震キャンペーン

神戸市では、毎年9月・10月に『神戸市すまいの耐震キャンペーン』と位置づけ、市民団体・専門家団体・報道機関等と連携し、耐震化に関する様々なイベントを開催しています！

10月～	職員がお宅を向う「ピンポン作戦」(垂水区桃山台)
10月6日	たるみっ子防災広場(しパンテ前広場)
10月12日	灘ふれあい秋祭り(都賀川公園)
10月19日	(一社)兵庫県建築士事務所協会神戸支部・一般市民向けキャパソン(板宿本通商店街)
10月20日	ラジオ関西まつり(ハバ・ラット 高浜岸壁)
10月20日	神戸大学都市安全研究センターオープンハウス(スベ・スタター)
10月26日	すまいの相談会(しパンテ垂水2番館 1Fロビー)

詳しくは「耐震化促進室」又は「すまいるネット耐震支援係」にお問合せください！

9月1日からオキールファミリー“Facebook”がスタートしています！耐震化の情報を発信しています！

祝*10年
まちセン研究ネット語り継ぐ 阪神・淡路大震災
～神戸防災技術者の会・最近の活動から(1)～K-TEC
倉橋 正己

1. 神戸防災技術者の会の目的と始まり

神戸防災技術者の会（略称 K-TEC）は、阪神・淡路大震災の経験や教訓を伝え、防災・減災のまちづくりに貢献することを目的とし、神戸市役所の職員とその退職者、66名で構成しています。

「震災から10年経って風化が進んできているのでは。震災の経験を伝える組織がいるなあ」という笹山前市長のつぶやきから始まりました。2004年6月に土木、建築職など18名で準備会を結成したものの最初は手探り状態。2005年にシンポジウム「新潟県中越地震に学ぶ」を開催し、2006年から毎年、神戸学院大学でのリレー講義を行うことになり、継続的に活動が出来そうだとということで2006年に設立総会をしました。

2. 活動内容

K-TECの活動は、「伝承」、「支援」、「調査・研究」の三つで、これらの活動は、被災した者としての責務でもありと考えています。

「伝承」は、阪神・淡路大震災後の市民生活や復旧・復興の様子を発信します。神戸市他の自治体職員や地域団体の研修への講師派遣、神戸学院大学の「阪神・淡路大震災研究」でリレー講義、さらに、講義を内容とした『伝承 阪神・淡路大震災 - われわれが学んだこと -』を刊行しました。

二つ目の「支援」は、自然災害発災地域への支援を神戸市と連携しながら行っています。2013年9月には、東日本大震災の被災自治体職員を神戸に招き、「復興まちづくりセミナーin神戸」を開催しました。セミナーでは、神戸の経験を伝え、復興の様子を視察してもらい、東日本の復興の課題などを意見交換しました。（※次号で報告予定）

最後の「調査・研究」は、毎月の定例会で防災・減災について学び、今年10月で113回になります。



「伝承」JICA 研修員との意見交換会

3. 東日本大震災の被災地を巡る

昨年9月にK-TECの会員19名で岩手県大槌町から宮城県名取市まで周り、現地の自治体職員や地域団体の役員との意見交換や激励をして来ました。以下、被災地で得た感想の一端を紹介します。

一つ目は自治体支援。東日本の自治体は震災で多くの職員を失いました。行財政改革で職員数を減員していたので職員不足は深刻です。岩手県大槌町が象徴的で、都市整備課は24名中課長以下20名が全国各地から派遣された“寄り合い所帯”でした。息の長い支援の継続には、進捗に応じて必要な職種の人員の派遣が求められます。事業経験を持つOB職員の活用がもっと考えられてよいのではと思いました。

二つ目は復興まちづくり。阪神・淡路大震災のように現地でそのまま再建できないこと、住民と行政の関係が違うことなど、大きく状況が異なります。復興計画は順次合意が進みつつありますが、中には高台移転が現地を嵩上げて住み続けるかで意見が分かれ、事業の遅れが危惧される地区もありました。工事など目に見える形で進捗の姿を示せない今が最も辛い時期で、踏ん張り所です。

三つ目は震災の記憶の継承。神戸から分灯した陸前高田市の「希望の灯り」も見てきました。同市の「奇跡の一本松」だけでなく、震災の記憶を後世に繋ぐために、シンボルとなる建物や工作物・記念碑を残したいという動きが各地でありました。住民と行政の協働によって一つでも多く実現することを期待しています。

K-TECとしては、今後とも神戸市からの派遣職員とともに、東日本の被災自治体の後方支援を続けていく必要があると、あらためて感じました。



「調査・研究」陸前高田市の『希望の灯り』

まちづくり会館20周年記念事業 元町歴史講演会&まち歩き 参加者募集!

今年の11月に開館20周年を迎えるまちづくり会館では、順次記念イベント等を実施しております。今回は、11月に企画している元町歴史講演会と元町まち歩きについて、参加者を募集しますのでぜひご参加ください!

<11月イベント募集案内> 参加無料

企画	(1)元町歴史講演会	(2)元町まち歩き
日時	平成25年11月17日(日) 14時~16時	平成25年11月10日(日) 10時~12時30分
場所	まちづくり会館 2階ホール	まちづくり会館 3階多目的室集合
概要	講師:田辺 眞人氏 (園田学園女子大学名誉教授) 講演テーマ: 「ディスカバー元町まちかど史」	タウンガイドKOBÉ24のガイドさんと 4テーマ①神戸学マイスターと歩く 元町界限、②老舗にささえられた食 文化を訪ねて、③元町レトロ建築探 訪、④港神戸の生い立ち)に分かれ てまち歩きます。
申込 方法	募集チラシ裏面の申込書をFAX(078-361-4546)で、又は往復葉書、 Eメールに、住所及び郵便番号、氏名(ふりがな)、性別、年齢、電話番号、 希望イベントを記入の上、まちづくり会館まで送付。	
申込 期間	平成25年9月20日(金)~ 平成25年10月30日(水)必着	平成25年9月20日(金)~ 平成25年10月20日(日)必着



募集案内チラシ

まちづくり会館展示のお知らせ

1階オープンギャラリーの予定

※展示期間が変更になる場合があります。

期 間	テーマ・内 容	主 催 者
10/3(木) ~ 10/22(火)	悪質商法・生活情報センターパネル展/新しい風 生涯学習	神戸市市民参画推進局/教育委員会
10/24(木) ~ 11/12(火)	緑のカーテン写真展/11月1日は計量記念日	神戸市環境局/市民参画推進局
11/14(木) ~ 12/27(金)	まちづくり会館 開館20周年記念展	まちづくり会館

地階ギャラリーの予定

※初日、最終日は展示時間が変更になる場合があります。

期 間	テーマ・内 容	主 催 者
9/26(木) ~ 10/1(火)	第33回 三滴会 書道展 <書道>	三滴会
10/4(金) ~ 10/8(火)	神戸婦人大学 絵てがみの会 <水彩・ハガキ絵>	神戸婦人大学 絵てがみの会
10/10(木) ~ 10/15(火)	森の会展 <油彩・水彩等>	森の会
10/17(木) ~ 10/22(火)	第22回 葦の会展 <油彩・水彩等>	葦の会
10/25(金) ~ 10/29(火)	第6回 みなと銀行福友会 会員作品展 <油彩・水彩等>	みなと銀行福友会
10/31(木) ~ 11/5(火)	チェリーの会展 <油彩・水彩>	チェリーの会



神戸市立 こうべまちづくり会館

開館時間:午前9時30分~午後6時(水曜日休館)

場 所:元町商店街4丁目西端の南側角

地下鉄海岸線「みなと元町駅」西1出口から北へ1分

神戸高速「花隈駅」東口から南へ3分

「西元町」東口から東へ5分

JR・阪神「元町駅」西口から西へ8分

〒650-0022 神戸市中央区元町通4丁目2-14

電話:078-361-4523 FAX:078-361-4546

ホームページ <http://www.kobe-sumai-machi.or.jp/matisen/>

コミュニティ相談センター(まちづくり会館4F)

自治会の会報等の印刷サービス、運営等の相談

受付:午前9時30分~午後5時30分(印刷は~5時)

電話・FAX:078-361-4565 (水曜日休館)



まちセンメールマガジン
「せん太ちゃん通信」配信中!

お申込は、mati3@kobe-sumai-machi.or.jp宛に
「メルマガ配信希望」の件名で空メールを送信
または右のQRコードをご利用ください。

